

六月定例会ではこんなことが決まりました

六月定例議会には、二十五件の提案があり、これら全てが「可決」されました。主なものを紹介します。

市長の退職金の五十%カットが決まる

副市長、教育長、特別理事、水道事業管理者
(市長以外の特別職)は退職金を十五%カット

市長の退職手当について、「一四四年で二千四百万円は高すぎる」と市長選挙で公約された市長が「半額とする」条例案を提出し、併せて、その他特別職の退職手当については、「十五%カット」にすることも提案され可決されました。

子ども医療費の無料化を

入院に限り、中学校卒業までに事業の枠を拡大

これまでは「乳幼児医療費無料化」として、小学校入学までの乳幼児のみ、医療費の無料化を行ってきましたが、このたび、岡山県が「子ども医療費」として、「入院に限る」という条件つきで小学校卒業までを無料化いたしました。

それを受けて津山市は、県の制度を拡充する形で、中学校卒業までの入院費に限り、子ども医療費の無料化を提案、可決され、平成二十二年十月の医療費から対応することとなりました。

不妊治療費に対する助成制度の設立も決定

不妊に悩む夫婦の経済的負担を軽減したいとの願いから、津山市でも「不妊治療」に対する助成制度の設立が決定されました。この制度は、一回の治療費が平均三十万円と高額になることから、岡山県の不妊治療助成事業を受けておられる方を対象に、費用から県の助成額を引いた金額の三分の一以内で、一回の治療に對し、十万円を限度に助成しようとするものです。

この制度は、七月一日以降に治療を終了した夫婦を対象とするもので、今年の六月末までに治療を終了した方は対象となりません。詳細は、子ども保健部健康増進課(電話三二二〇六九)までお問い合わせください。

六月議会の日程

- ◆六月七日(月) 開会、議案上程
- ◆六月十四日(月) ～十七日(木) 一般質問、議案質疑、委員会付託
- ◆六月二十一日(月) 各常任委員会
- ◆六月二十三日(水) 各特別委員会
- ◆六月二十九日(火) 常任委員会委員長報告・採決、追加議案上程、閉会

市政に対する代表・個人質問

六月議会では、代表質問を会派で選択・決定し、十四日(月)から十七日(木)までの四日間にあたり、二十四人の議員が質問を行いました。次ページより紹介しますが、掲載の質疑は議員が作成し、議員の責任で掲載しています。写真は、代表質問を行った会派については、代表質問者が登壇で質問中のところと会派員の集合写真、個人質問者は登壇で質問中のところです。

